

ひめだ高木三郎

日本共産党 和歌山市会議員

No. 733

'06.8.29

マンションへの ビラ配布強硬事件 無罪判決 東京地裁は 控訴を断念せよ

◇ 東京都葛飾区のマンションで日本共産党の都議会報告のビラ配りが住居侵入罪にあたること不当に起訴された裁判で、東京地裁は「社会通念上、本件のようなビラ配布は禁じられていない」と述べ、荒川鷹生さんに無罪を言い渡しました。休日の午後に自由に入入りできるマンションの共用廊下を平穩に歩み、各戸のポストにビラを配布することを犯罪とした裁判・検察は反省し控訴せず判決に服すべきです。

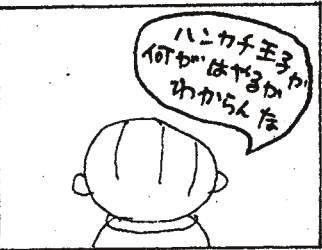
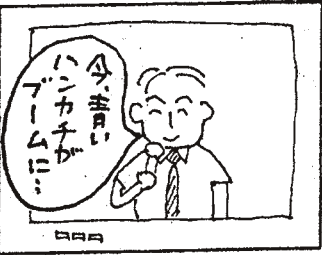
◇ 日本共産党中央委員会発行の「議会と自治体」9月号(A4版)16頁・630頁に「世の影響調査か

障害者「自立破壊」法の実態

◇ 見える障害者施設の現状
・ 政策委員会 秋山千尋
が掲載された、日本共産党国会議員団が5月と6月に行

フリーの人々

<516>



障害者自立支援法実施による利用者負担増額 (これまで自己負担せられた人について)

日本共産党 国会議員団調べ

区分	身体障害		知的障害	
	通所	入所	通所	入所
1万円未満	287人(29.6%)	0人	653人(16.1%)	83人(25.8%)
2万円未満	502人(51.8%)	0人	1,981人(48.8%)	186人(57.8%)
3万円未満	142人(14.6%)	3人	1,145人(28.2%)	26人(8.1%)
3万円以上	38人(3.9%)	1人	279人(6.9%)	27人(8.4%)

つた調査結果と分析が報告されています。
左表は、その一つで障害者自立支援法の実施で利用者負担が増していることを示しています。

調査は、全国40都道府県256施設からの回答などのこと。「たまたまのもの」が障害者家族の生活実態を無視し、福祉サービスを買

こんにちは

県会議員の

ふじい健太郎

です。(その162)

先週、岩手県と宮城県を訪ねました。目的は、県会議員団で条例提案の準備をしている「水環境保全条例」の先発県での実施状況です。話は大きくなりませんが地球は「水の惑星」とも言われ、地表の圧倒的部分を海が占め、海・大気・陸で水の循環を繰り返しています。

この循環が途切れると陸が砂漠化したり海に異変をきたし、人間の生活にも影響を及ぼることになります。「森は海の恋人」とい言葉聞いた人もあるでしょう。宮城県気仙沼で海を守るために山に落葉樹を植える運動が始まり全国に広がりました。また、上水道の水源地域へのゴルフ場開発をストップさせる住民運動が行政を動かしました。山の森林と川の水、河口部とそれにつながる海との関係、決して無関係ではないようです。和歌山の山、川、海はどうなっているのでしょうか。じっくりと考えていきたいと思えます。



ふじい健太郎 県会議員

憲法問題の学習交流集会

授産施設に象徴されるように障害者自立支援法は、

8月27日(日) 地場産センターで、日本共産党学術文化委員会事務局長・土井洋彦氏の「日本国憲法をま

もり生かす運動と日本共産党の役割・課題」という報告を聞きました。●憲法問題

「二大政党」の改憲案の内容 ●改憲案の本質をどうつ

容 ●改憲案の本質をどうつ

容 ●改憲案の本質をどうつ

自立「破壊」法だと訴えた記述が圧倒的である...

かみ、どう語るか ●日本共産党は憲法をどう位置づけ

8月26日(土)夜、医師協賛診療所の平和夏まつり

で、今年も、はっちゃん

と焼き鳥を焼きました。この日はちよ、と遅刻をしたため到着してすぐ、焼き鳥

焼きたて

ているか ●憲法をまもりはかす運動での日本共産党の役割は何か? くわしい中身はまたの機会に紹介します

県下の取り組みになりました。多彩で参考になりました。

に取っかかりました。昨年の赤旗まつりのこともあり

だ、お客に愛想を振りまくこと

も忘れひたすら串を回し、最後は空腹でダウン。

最後は空腹でダウン。

こどもには日本共産党



「軍国神社参拝反対」こんな張り紙を市内で見ました。小泉首相が靖国神社に参拝したことへの抗議なのでしよう。小泉首相の靖国参拝は

首相就任以来、6回目。8月15日の参拝は初めてで、5年前の自民党総裁選での「公約」を果たしたことになります。いつも批判ばかり。いつ行っても同じ。きょうが適切だと思った。情けないと思いました。小泉氏の言動は「首相」の名に値しないと感じた人は少

なくないと思います。ホスト小泉が有力視されていく人物は、憲法9条改憲により熱心です。歴史に学ばない政治家の勝手し放題を許すわけにはいけません。



明彦 参議院選挙区予定候補

平和夏まつりで焼き鳥焼く

8月26日(土)夜、医師協賛診療所の平和夏まつりで、今年も、はっちゃん

潮流

61年前の8月28日、神奈川県厚木飛行場に、占領軍の先遣機が到着しました。2日後、連合国軍最高司令官マッカーサー元帥を乗せたC54輸送機が着陸。マッカーサーは、日本政府の用意した車で横浜に向かいました。▼本格的進駐の始まりです▼翌年2月初め、毎日新聞のスクープで、日本政府の旧態依然の憲法改正案を知ったマッカーサーは、ホイットニー民政局長に①天皇制の存置②戦争放棄③などの原則を示し、至急憲法草案を作成するよう指示しました▼2月13日、GHQ(連合国軍総司令部)は、「GHQの憲法草案」を日本政府に手交します。終戦連絡局長長を務めた白洲次郎は白洲手記でそのときのGHQ側発言をこう記しています▼「日本政府案は全然受け

入水されるものでない。司令部にて案を作成したり。本案は強制的に押しつけるものにあらず。本案は日本国民の希望するものと信ずる。▼「GHQ草案」作成に加わったベアデ・シロタ・ゴードン氏は「自分の国のものよりいいものを渡したのだから、押しつけたい言葉は当たらない」といいます▼それからわずか4年後、朝鮮戦争が始まるとマッカーサーは警察予備隊(後の自衛隊)の創設を命令します。再軍備の始まりです。その裏には憲法を改定して本格的な軍隊をつくる計画も隠されていました。改憲派は現憲法をアメリカに「押しつけられた憲法」と批判します。しかし、こここそが真正正銘の「押しつけ」ではないでしょうか。

潮流は日刊赤旗に毎日掲載
赤旗 日刊 2900円/月